

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 刈谷市立しげはら園

公表日 2025年3月26日

利用児

童数 2025年3月26日

回収数 29

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	3	0	0	・ 園庭が使えないのは非常に残念。 ・ いろんな部屋で子どもが楽しく過ごせるように工夫されている。 ・ 体育室は広くて走り回れるので良い。 ・ 保育室以外にも中庭など体を動かすスペースがあって問題ない。 ・ 今は狭く感じる。 ・ 雨の日も屋内で思い切り体を動かせるので助かっている。	園庭の代替えとし、近隣の公共施設を利用したり、幼稚園や保育園での交流保育を実施したりしています。また、日頃から中庭・屋上・心身障害福祉会館を活用しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	1	0	0	・ 子ども2～3人に対して先生が1人ついてくれているので手厚い。 ・ 職員は沢山いるが、いつも忙しそうに見える。それでも子どもの特性や様子など把握していて情報共有されているので助かっている。 ・ 誰かが痙攣を起こすとバタバタしている印象。 ・ 子どもに目が行き届いていると思う。 ・ 適切であると思うがフリーの保育士さんがもっと増えてもよい。	・ 厚生労働省が定める基準を遵守した職員配置をし、子どもの状態や場面に応じて適切な職員体制をとっています。 ・ 保育士、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、音楽療法士など児童分野での経験と専門性を備えた職員を配置しています。 ・ 今後も研修や自己研鑽を通して専門性を高め適切な対応ができるよう努力していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	2	0	0	・ 子どもが心地良く学べるように好きな絵を椅子に貼ってあり、絵カードもあって一日の流れを覚えやすい環境になっている。 ・ 良い環境だと思う。 ・ 目的別の部屋がある。 ・ 3年間を通して自分のマークが統一されているので荷物の置き場等がわかりやすい。	子どもたち一人一人の特性に応じ、わかりやすい環境を工夫し、整えています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28	1	0	0	・ 整理整頓されていて良い環境だと思う。 ・ 廊下に物が溢れていて気になる。 ・ 室内の清掃が行き届いている。 ・ 子ども達の動線に合わせた空間作りがされている。 ・ いつもきれいに片付いていて、活動の時にはおもちゃが目につかないようになっていて、メリハリのある空間になっている。 ・ 広々とした空間だと思う。	・ 引き続き、毎日の清掃、消毒を丁寧にを行い清潔に保つようにします。 ・ 定期的に換気をしたり、必要に応じて、消毒したりして、感染症対策に努めています。 ・ 子どもの発達、特性、興味を理解し、安心して心地よく過ごせる環境作りに努めています。また活動に合わせて活動の場所を選択したり、環境設定をしたりしています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	0	0	0	・ 言語療法や音楽療法など専門的な支援が定期的に行われている。 ・ 個別の音楽療法は息子のペースに合わせてくれるのが良い。 ・ 定期的に専門の先生に相談する機会を設けてくれていて、先生達も子どものことをすごく理解して支援してくれている。 ・ 専門の先生に繋いでもらえる安心感がある。 ・ こだわりや感覚過敏にも寄り添って支援してくれている。 ・ 支援者（保育者）等との連絡が取りやすい。 ・ クラスの担任だけでなく他学年の先生方もとても理解してくれており、十分な支援を受けることができている。	・ 子ども一人一人の発達や特性等を理解できるよう、定期的に支援会議を行ったり、毎日、朝礼と終礼を行ったりして全職員で情報共有できるようにしています。 ・ 常に専門職と連携を取りながら、アドバイスを活かしたより良い支援に努めています。 ・ 専門職による、言語療法、作業療法、音楽療法や心理士による発達検査等を行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	0	0	0	・ 問題ない。 ・ 内容に沿っている。	日常生活や集団生活で自立できるように、5領域を含めた総合的な支援プログラムを基に、領域に沿った支援を行っています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	0	0	0	・ 家庭や園での様子をしっかりと把握してくれた上で支援計画を作成してくれる。 ・ 日々の子どもの成長段階に合わせた計画となっていて、きちんと分析されている。 ・ 定期的に話し合って作成されていると思う。 ・ 具体的な内容で考えられていると思。	今後もモニタリングを行う中で、保護者と子どものニーズを汲み取って計画を作成していきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	1	0	1	・ 支援計画をごちらがよく理解していないが、本人が園での生活を楽しんでいるので良い。 ・ しっかりと子どもの伸ばせるところと苦手な事を把握して支援してくれている。 ・ 保護者の不安ともしっかりと向き合ってくれて感謝している。 ・ アセスメントを通じて具体的な内容で落とし込んでもらっている。 ・ 定期的に見直し対応してくれている。	・ ガイドラインに基づき、ご家族や子どもの現状に適した支援内容を児童発達運営責任者、担任、専門職員が検討し、必要な支援項目を具体的に盛り込み、支援につなげるようにしています。 ・ ガイドラインのわかりやすい説明と周知に努めます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	1	0	0	・ 内容に沿っている。	個別支援計画に記載された支援内容を職員間、専門職で共有し、支援を実施しています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28	0	0	1	・ 音楽やいろんな遊びを経験できて、子どもが印象に残っていることは伝えようとするようになった。 ・ 日々いろいろな活動をしていると思うが、一日の活動内容をそこまで聞けていない。 ・ その時々の発達に合わせられている。 ・ 本人の好きなこと、得意なことをベースにいろいろなプログラムを提案してもらっている。 ・ 季節の行事が充実していてありがたいが、行事を絞ってもよい。	引き続き活動が固定化しないように子どもの発達や興味、目標に合わせ、専門職の助言を取り入れながら活動を工夫していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	24	4	1	0	・ 地域の保育園との交流があり、他園の子どもの姿を見ることができて良い刺激になっていると思う。信頼する先生達が付いてくれていて安心できる。 ・ 保護者の要望も常に考慮してくれる。 ・ 地域の保育園に行かせてもらっているが、園児たちと交流があるわけではないそう。 ・ 近くの保育園や幼稚園のクラスにも混ぜてもらい、一緒に遊ぶ機会がある。	・ 近隣の幼稚園、保育園での交流を、定期的に実施しています。今後は、交流先の園と連携を図りながら一緒に活動する機会を作っていきます。 ・ 交流の様子について、園だより、連絡帳等でお伝えします。 ・ 個別に親子での交流保育を実施しています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	0	0	0	・ 入園前にわかりやすい説明をしてもらっている。 ・ 入園の際、説明がある。	重要事項の説明と共に丁寧に説明を心がけます。また、翻訳した書類をご用意します。ご不明な点がありましたら、遠慮なくお尋ねください。

保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	0	0	0	・モニタリングや親子通園の際、説明があった。	・今後も「児童発達支援計画」を示しながら、提供する支援のねらい、及び支援内容について具体的にわかりやすく説明していきます。 ・必要に応じて通訳者を配置します。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	28	1	0	0	・情報提供してくれる機会がすごく多い。 ・パンフレットの提供や研修などの案内がある。 ・様々な研修会や講演会等を実施してくれている。 ・研修、勉強会の機会が多く、自由参加なので気になる内容の時に参加できてよい。	親子支援プログラムを行っています。引き続き、保護者向け講演会、父親参観、クラス懇談会、療育相談等を通して保護者の方と一緒に子どもたちへの支援を考えていきたいと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	29	0	0	0	・バス乗降時や連絡帳で子どもの状況を教えてもらったり伝えられている。 ・心配事があると送迎時に加えて電話をしてくれる。 ・共通認識の確認の時間を頻繁に作ってもらい感謝している。 ・園に行く機会も限られるが、会えるタイミングで先生と直接話ができる。 ・連絡帳、電話以外のツールがあるともっと良いと思う。 ・子どもについての困り事を相談すると適切な対応の仕方を教えてもらえてありがたい。	毎日、連絡帳や送迎時に子どもの状況を伝え合えるようにしています。子どもの成長と一緒に喜び合いたいと思っています。今後も親子通園、行事等の際に情報共有を図ったり相談に応じたりしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	0	0	0	・気になることは随時、助言をくれる。 ・年3回の親子通園時だけでなく、必要があればすぐに対応してくれるので助かっている。 ・心配事や伝えたい事があれば、話し合う機会がある。 ・困った時にアドバイスをもらえて助かっている。 ・就学に対する不安や疑問に対して、どこに聞いたらよいのか適切に教えてもらえてありがたかった。 ・定期的な面談以外でも相談がある際は、すぐに対応してくれる的確なアドバイスもらえる。 ・親子通園や専門の先生との面談で話す機会がある。	今後も定期的に面談や育児に関するアドバイスができる機会を設けていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	0	0	0	・育児の悩みが尽きないが、寄り添って支援してくれている。 ・否定されることなく、子どもの自己肯定感も安定している。 ・丁寧に支援をしてくれていると思う。	今後も保護者の方々の思いや考えを汲み取り、理解しながら、適切な支援ができるよう努めます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	26	2	0	1	・きょうだい児のいる家庭向けのお話会がある。 ・親睦会や忘年会等、保護者でコミュニケーションをとる機会が設けられてい。 ・保護者同士の交流の機会はあるが、きょうだい同士の交流の機会は設けられていない。 ・行事の時は下の子は託児してもらえるのはありがたいが、貴重な経験になるので下の子も一緒に参加できたらいいと思う。 ・交流会等、積極的に設けられている。 ・バス通園で他の保護者との交流が少ないので交流の場があるのは助かっている。 ・保護者同士の交流のチャンスが多く、情報交換をしたり世間話をしたりと気持ち的にかなり助けられている。	・今後も保護者会の意向を尊重しながら保護者同士の連携が図れるよう取り組んでいきます。その都度、通訳者の配置をしていきます。 ・きょうだい児同士が交流できる機会を設けます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28	1	0	0	・すぐ気にかけてくれる。話す機会がある度に不安事はきちんと聞いてくれて、専門の方に相談できる場があるのでありがたい。 ・相談しても「そうなんですね」「様子見ますね」「やってみますね」と言っただけで忘れられるので相談する気にならない。 ・保護者等対応が迅速だと思う。 ・先生方も日々忙しいと思うが、相談するとすぐに時間をとってくれて待たされることがない。	今後も迅速に丁寧かつ、適切な対応ができるよう努めます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	0	0	1	・園との連絡がとりやすい。 ・問題ないと思う。	引き続き子どもや保護者の方との意思疎通、情報伝達のための配慮や工夫に努めます。
非常時等の対応	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24	4	0	1	・園だよりが発行されている。 ・日頃の様子や行事の練習の様子を、ビデオ上映してくれる。 ・自己評価の結果は見たことがないが、行事等の連絡は毎月もらう。 ・入園を考えている方が気軽に情報を得られるようなホームページがあると良い。	・年間計画は、4月に配布させていただいています。 ・毎月の園だよりにて、行事等をお知らせしています。行事の詳細につきましては、できる限り速やかにわかりやすく、お伝えできるように努めます。 ・自己評価の結果は、HPIにて発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	0	0	2	・十分に留意されていると思う。 ・問題ないと思う。	・今後も職員間で法令遵守について確認する場を設け、個人情報の取り扱いについては十分に注意していきます。 ・個人情報の取り扱いについて、契約時に丁寧に伝えします。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	4	0	1	・定期的に避難訓練が実施されている。 ・事故防止・防犯等マニュアルはあると思うが、保護者は知らない。 ・入園の際、説明があった。 ・マニュアルを詳しく見たことがないのでわからない。	・各種マニュアルを策定しております。周知、説明に努めます。 ・緊急時を想定した訓練（保護者参加の引き渡し訓練等）を引き続き行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29	0	0	0	・避難訓練の日がある。 ・園で各種訓練が定期的にある。	・毎月の避難訓練は、継続して実施していきます。保護者の方も年に1回、引き渡し訓練への参加にご協力をお願いいたします。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	0	0	1	・子どもへの目が行き届いていると思う。	・安全確保を十分に行った上で、支援を行っています。 ・こどもの安全を確保するための計画についての周知に努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	0	0	0	・迎えのバス降車の時や電話で説明してもらっているが、できれば連絡帳にも書いてもらいたい。 ・小さな怪我でも報告があり、安全面に配慮していると感じる。 ・怪我をした日に連絡をしてくれる。 ・何かあったら必ず連絡をくれる。	引き続き、事故発生時には、速やかな連絡と状況説明を行います。

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	29	0	0	0	・先生が大好きな様子。 ・とても安心感があると思う。 ・苦手な音があっても先生に抱っこしてもらうことで安心できる。 ・渋りもなくリラックスできているようだ。 ・いつもバスに乗る前に遊んでいるので不安な様子はない。 ・機嫌が悪くても、通園バスが来ると喜んで乗って行くので、安心できる場所なんだと思う。	子どもは勿論、ご家族にも安心感をもっていただけるよう努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	28	1	0	0	・とてもニコニコ過ごせていて、本人なりに楽しんでいるみたいだ。 ・毎日笑顔で通所している。 ・多分、家よりしげはら園の方が好きだと思う。 ・日による。 ・先生に会うとニコニコしているので嫌がることはない。 ・楽しく通っている。	子どもやご家族の思いを受け止め、しげはら園で安心して過ごせるよう努めます。ご心配な点がございましたらいつでもご相談ください。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	0	0	0	・3年間、常に満足した状態で通所させることができ感謝している。 ・大変満足している。 ・支援が手厚いのでとても満足している。	子どもの最善の利益を尊重し、保護者の皆様の意見を大切にしながら、適切かつ丁寧な療育を行っています。 ・子どもたちが安心して、笑顔が溢れ楽しく通える園を目指し、職員一同で取り組んでまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		刈谷市立しげはら園					公表日	令和7年3月26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	18	0	・こどもが安心できる広さと空間があり、支援が行われている。 ・必要時は仕切りをして個別空間を作っている。 ・こどもの人数やこどもの状態に応じて異年齢療育を取り入れているところが良いと思う。 ・室内も仕切り等で空間を分けることができ、遊戯室や隣接している心身障害者福祉会館や屋上、中庭を使用してい。 ・各指導室以外にも、心身障害者福祉会館等の場所を利用し、工夫できている。	・法令を遵守して療育を行っています。 ・引き続き、安全に留意し、適切なスペースを、工夫したり心身障害者福祉会館の体育室、機能訓練室等を利用したりして確保していきます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	18	0	・こどもの出席数に合わせて配置をしている。 ・助けが必要な時は他のクラスの職員に声をかける。 ・前日に職員配置を話し合い、こどもの人数に応じた配置ができています。休暇も取りたい日に取れている。 ・こどもの人数に対して十分な職員配置数になっている。 ・その日の職員数やこどもの出席人数などに合わせて臨機応変に職員配置をして療育をしている。 ・規定に合わせた職員配置がされている。 ・個別対応の場面では人員を増やしている。	運営規定上の職員配置を満たしております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	18	0	・こどもに合わせて机の高さを変えたり、椅子を座りやすく工夫されている。 ・こどもの発達に合わせて、絵カードや写真カード、スケジュールカードを使い、視覚的にわかりやすいようにしている。 ・クラスのこどもの姿に合わせてスペースの確保をしたり、毎日の生活の流れに沿った環境を整備するなどして、安全に安心して生活できる工夫をしている。 ・OT,PT,ST等相談しながら本人に分かりやすく構造化された環境を意識している。よりよい支援をしたり、こどもたちが落ち着いて過ごせる環境だと思う。	今後もこどもの視点で考え、過ごしやすい環境、安全な環境作りに努めていきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	18	0	・消毒がしっかりと行われている。 ・降園後、玩具の消毒をしている。 ・室内の環境を変えたり、部屋を移動するなどして、活動に合わせた環境を作っている。 ・職員でこまめに掃除をしている。活動後は清掃業者が入り、保育室やトイレの清掃を行っている。 ・室内の温度調節や、こまめな換気を徹底している。 ・外から帰って来た時や食事の前には必ず手洗いをしている。	引き続き、こども達が清潔で、心地よく過ごせる環境を整えていきます。また、こどもの動きを想定し安全に過ごすことができるよう配慮していきます。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	18	0	・ついたてなどを使い、こどもが安心して過ごせる空間を作っている。 ・こどもの様子に合わせて個別の空間を作っている。 ・個別で落ち着いた環境が必要な時は、廊下の遊びスペースや遊戯室などを利用している。 ・活動に合わせて適切な空間を作るよう配慮している。	必要に応じて、こどもが安心して快適に過ごせるよう、個別の部屋や場所を工夫しながら用意しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	18	0	・朝礼、終礼等でこどもの姿や支援内容について、全体に周知している。 ・クラス間では日々話し合いの時間を設けて周知できるように努めている。 ・職員同士で、気になる子やその日あった事などを話し合っている。 ・クラスで話し合う時間を作って改善や検討している。 ・クラス間で常に話し合いながら療育をしている。必要に応じて、上司に相談したり、職員全体に周知したりしている。 ・市の業務目標、指導計画、支援計画等いろいろな場でPDCAサイクルを活用し実践している。	引き続き、職員会議などで業務改善に向けての話し合いをし、職員全体の意識を高められるようにしています。また、広く職員が参画できるよう取り組んでいきます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	0	・評価表の結果を職員で回覧し、意識したり改善できるように努めている。 ・保護者の評価から意向を把握し、改善に努めている。 ・実践している。	今後も保護者等に対する事業所の評価を実施し、業務改善に努めていきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	0	・定期的にクラスのことを上司と共通理解できる場を設けて話せているのが良い。 ・毎月、職員会議を行ったり、管理者が定期的に個別の面談を実施したりして意見を反映している。	日頃から職員の意見等を把握するよう努めると共に、定期的に機会を設け、その内容を業務改善につなげていきます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	10		・第三者評価は受けておりません。愛知県や刈谷市の行政監査等で指導・指摘を受け、改善につなげています。		

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	18	0	・他の施設に研修に行ったり、他の施設の職員が研修に来たりして情報交換ができ、とても勉強になる。 ・ケース会議、園内研修や、OT,STとの連携も行われている。 ・園内研修等、研修の機会が設けられている。 ・ケース会議や施設内勉強会、近隣の市との研修会、職員の経験年数に合わせた研修等の機会がある。	今後も園内研修を継続して行います。また、研修で学んだことを職員に周知し、共有することで、職員の資質向上に努めています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	18	0	・担任と上司、児童発達支援管理責任者の指導やアドバイスを受け、担任間でも話し合って作成している。	支援プログラムを作成し、公表しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	18	0	・担任だけでなくSTやOTに相談し、具体的にその子に合った支援計画が作成できている。 ・個別支援会議を行い支援計画を作成している。 ・親子通園を行い、園での姿を見てもらっている。 ・保護者、担任、専門家等、様々な立場の人の意見をもとにニーズや課題を考え、計画を作成している。 ・生活状況の表や発達記録表、日々の記録等をもとにアセスメントを行っている。	引き続き、適切なアセスメントを丁寧に行いモニタリングを行う中で、こどもと保護者のニーズを汲み取り、支援計画を作成していきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	18	0	・個別支援会議では、担任、児童発達支援管理責任者、主任、園長が同席して支援計画を作成している。 ・個別支援会議ではOT、ST等の意見を集め、共通理解の下で支援計画を作成している。 ・支援会議でこどもの姿について細かく話し合い、検討をしている。 ・保護者の話や園長、主任、児童発達支援管理責任者、担任OT,PT,ST等、様々な人から意見を集め、支援計画の作成をしている。	引き続き、児童発達支援計画を児童発達支援管理責任者と、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討を行い作成していきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	18	0	・支援計画がまとめられており、他クラスの職員が見てもわかりやすくなっている。 ・担任間で個別の支援方法を共通理解している。 ・職員間で確認し、計画をもとに支援を行っている。 ・個々の支援計画を確認しやすいように掲示し、担任や児童発達支援管理責任者が計画の実施状況を確認しながら支援している。	今後もこどもの姿を確認しながら、児童発達支援計画を基により良い支援が行われるように努めています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	18	0	・発達検査の結果と日々の観察、専門家からの意見等で確認している ・KIDSを年に2回、発達の記録を年に3回行っている	今後もKIDS検査を行うとともに、発達の記録を記入し、こどもの発達把握が的確にできるようにしていきます。また、他のアセスメントツールについても学び、必要に応じて活用していきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	18	0	・ガイドラインや国の通知を確認して必要な項目を適切に設定、見直しをしている。 ・こどもの発達やご家族の状況に合わせて、必要な支援と具体的な内容を職員で検討し設定している。	今後も児童発達支援ガイドラインに基づき、提供すべき支援を適切に選択し、具体的な支援内容を設定していきます。また、各支援に関する内容の充実を図っていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	18	0	・担任だけでなく、児童発達支援管理責任者や園長、主任とも定期的に情報共有を行い立案している。 ・クラスで相談し、話し合うようにしている。 ・こどもの姿、特性を踏まえた活動プログラムを計画して行っている。 ・ホールや中庭などの使用時間はクラスで話し合って時間配分している。 ・担任間でこどもの姿に応じた活動を立案してる。OT,STとも相談して活動を考えている。 ・専門職からの助言を参考に、クラスの担任間で話し、相談して考えている。	引き続き、担当保育士だけでなく、他職員、OT、STとも相談しながら、より良い活動が行えるように取り組みます。
適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	18	0	・こどもが楽しく活動できるようなアイデアを出し合い、日々工夫している。 ・季節や催しに応じて工夫している。 ・OT,STからのアドバイスも取り入れ活動を工夫している。 ・こどもの姿に合わせて工夫している。	子どもたち一人一人に合わせた支援を工夫していく上で、職員の考えを共有する時間を設けたり、より良い活動ができるよう連携したりしていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	18	0	・日々の療育の中で、クラス全員で行う全体活動に加え、興味や発達に合った遊びを他児と行うグループ活動も取り入れている。 ・こどもの状況に応じて活動を変えている。 ・こども一人一人に合わせて支援し、生活習慣が身につくような個別活動を行ったり、友達との関わりやルールを知ることができるよう集団活動を行ったりしている。 ・こどもの姿に合わせた全体活動を行い、個別の課題や興味に合わせた遊びや活動を用意している。 ・保育士、音楽療法士、作業療法士、言語聴覚士による個別活動と集団活動を実施し支援している。	引き続き、こどもの姿に合わせて個別活動と集団活動でのねらいを立てながら、適宜組み合わせた活動を取り入れていきます。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	18	0	・クラスの職員の中で役割やその日の動きなどを話し合っている。 ・職員間で事前に打ち合せをし、必要な物を用意したり役割分担している。 ・朝礼時に各クラスの活動内容を伝え合っている。担任間では活動内容や役割分担、支援方法等を確認している。 ・毎朝、職員全体の朝礼で活動内容を確認し、クラス間や他クラスとの打ち合せや準備をそれぞれで行っている。 ・職員全体では、朝礼時に各クラスの活動内容を伝え合っている。担任保育者間で再度、活動内容や役割分担、支援方法を確認している。	毎日、朝礼を実施し打ち合わせを行っている。引き続きその日行われる支援の内容や役割分担について確認し、共通理解をしてから、チームで連携して支援を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	18	0	・気付いたことをそのままにせず、すぐに話し合い、上司に相談して解決策を考えている。 ・毎日終礼を行い、クラス内で起きた事や連絡帳の内容など確認し合っている。 ・園児の降園後に職員間でその日の活動を振り返り、話し合っている。 ・こどもの姿に対しての支援や、成長した姿等について振り返り、支援に活かしている。 ・その日の支援の仕方や反省点など共有している。 ・終礼時に職員全体で、こどもの姿や連絡帳での連絡について伝え合ったり、紙面に残して回覧している。	日々振り返りを行い、必要なことは職員全体に共有しながら、翌日の支援につなげていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	18	0	・支援や手作りおもちゃの記録を写真付きで分かりやすくまとめ、月案に挟んで共有できるようにしている。 ・担任間でこどもの姿について話し合っている。 ・毎日、連絡帳にこどもの姿を記録している。 ・専門療育の支援内容や課題、日々の保育の記録等、職員全体が回覧し共有している。検証、改善が必要なことは職員間で話し合いをしたり事例検討をしている。	今後も記録を取ることで、子どもの姿を検証したり、支援の改善をしたりしていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	18	0	・親子通園時に定期的にモニタリングして計画について話し合っている。 ・年3回の親子通園の機会にモニタリングを行い、必要に応じて見直しをしている。	引き続き、1年に3回のモニタリングを実施し、必要に応じて回数を増やしたり、支援の見直しをしたりしていきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	18	0	・こどもの状況を理解している職員が参画している。 ・園長、主任、児童発達支援管理責任者、担任等必要に応じた職員が参画している。	今後も担当者会議や関係機関との会議には、子どもの状況に精通した職員が、参画していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	18	0	・こどもの特性についてまとめた記録を作成して医療機関に提出したり、保護者から電話や連絡帳で様子を聞いたりして連携している。	保健師や関係機関と連携した支援を行っている。今後は医療機関との連携支援ができるよう体制を整えていくことが課題です。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	18	0	・交流保育を行い、こどもの様子を見てもらったり、その子の特性を理解しやすいように幼児園の保育者が記録にまとめたり、ビデオを撮って見せたりしている。 ・こどもの様子に合わせて個別で交流保育に行っている。 ・こどもの姿を把握した上で、保護者と相談をしながら交流保育を行うなどしている。 ・さくら保育園、住吉幼児園との交流保育を行っている。 ・こどもの様子に合わせて地域の園と親子で交流保育をしている。しげはら園の職員も同行し、情報共有しやすいようにしている。	今後も子どもの姿に合わせた移行支援ができるよう、情報を共有して相互理解に努め、体制を整えていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	18	0	・小学校や特別支援学校教諭にこどもの様子を伝えたり、実際見に来てもらったりしている。保護者の学校見学へ職員が同行している。	今後も情報共有と相互理解を図っていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)	18	0	・近隣5市にある各施設で実習をしている。 ・6市療育者会を行っている。実習を行い情報共有や支援向上を図っている。 ・他の児童発達支援センターへの見学や、しげはら園での見学の受け入れ等、積極的に行っている。。	今後も継続的に他の専門機関と連携し、情報共有したり、助言、研修を受けたりして、職員の資質向上に努めていきます。
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	18	0	・言語療法、作業療法の先生からの助言指導あり。 ・定期的に専門職に相談をし、助言を受ける機会が設けられている。 ・研修等で学ぶ機会もある。 ・ケース会議や施設内勉強会、近隣の市との研修会、職員の経験年数に合わせた研修等の機会がある。	・常に専門家との連携をとりながら支援に活かしています。また、専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加できるように努めています ・センターとしての中核的な役割として、市内の関係職員の質の向上に向け研修会の開催を計画していきます。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	18	0	・主に園長、主任が参加している。	定期的に開催される会議へ参加し、最新の情報を得たり、地域の動向を把握したりし、職員への内容の周知を図っていきます。
	31	(31は、事業所のみ回答)	0	0		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	18	0	・他園の園児の訪問や保育園園庭で遊ぶ。 ・地域の方が参加する夏祭り。 ・近くの保育園や幼稚園の園庭に遊びに行っている。 ・保育園児が甲冑の踊りを見せに訪問してくれた。 ・さくら保育園、住吉幼稚園と交流する機会がある。	週2日、近隣の幼稚園・保育園と交流を行っています。 今後は、連携を取りながら、子どもの発達に合わせて活動内容を計画し、一緒に活動を行っていただけるよう取り組んでいきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	18	0	・連絡帳や親子通園、登降園時に話し合い、情報を共有している。 ・連絡帳や電話、送迎時など、保護者にこどもの様子を伝えられている。 ・連絡帳でのやりとりが主ではあるが、直接登降園の保護者とはこどもの姿を伝えられている。 ・日々の連絡帳や電話での対応、親子通園、行事等でこどもの姿を伝え合い、支援の内容について確認している。 ・連絡帳だけでなく、登降園時や電話で直接子どもの様子や相談について話し合う機会を作っている。	今後連絡帳や親子通園等、保護者と子どもの姿を伝え合う機会を大切にし、共通理解を図りながら支援を行っていきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	18	0	・父親座談会や参観日等、父親向けのものも行っている。 ・父親参観、父親・先輩保護者・きょうだい児の座談会など、保護者向けの研修や情報交換の機会を設けている。 ・親子支援プログラムやクラス懇談会、保護者向け講演会、きょうだい児座談会、父親向け座談会等を行っている。	・保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）を開催しています。 ・ご家族のニーズに合わせて参加していただけるような様々な研修会や座談会、懇談会を開催しています。 ・今後も内容を工夫しながら多くの方に参加していただけるよう計画していきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	18	0	・入園時に説明をして同意を得ている。 ・入園面接時に丁寧な説明を行い、同意を得てい。 ・保護者からの問い合わせに対して、その都度対応している。	毎年、丁寧に説明を行い、安心して利用していただけるよう取り組んでいます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	18	0	・親子通園では親身になって家庭でのこどもの様子を聞き、その子に合った支援計画を考え、連携している。	年3回の親子通園を実施し、こどもやご家族の意向を確認し児童発達支援計画を作成しています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	18	0	・親子通園でこどもと一緒に過ごしてもらい、療育の様子を見てもらっている。 ・親子通園で子どもが園で過ごしている様子を見てもらい、その後、児童発達支援計画を保護者に示しながら説明を行い、同意を得ている。	児童発達支援ガイドラインに基づき、児童発達支援計画を作成しています。引き続き、具体的な子どもの姿や支援内容を示しながら説明を行い、同意を得るように努めていきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	18	0	・連絡帳でのやりとりに加えて、送迎の際や電話で詳しく話を聞き、助言と支援を行っている。 ・懇談会で話を聞いたり相談に応じ、担任間で共通理解して上司に報告している。 ・連絡帳を通して保護者の困り事に気付いた時は電話や直接合った時に声をかけるようにしている。 ・連絡帳や電話で相談に応じ、ST,OTなどから助言を受けられるようにしている。 ・電話などで詳しく話を聞き、対応を考えたり、専門職等からの助言を伝えたりしている。 ・臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士、保育士らが定期的に相談を受ける機会がある。	今後も、保護者の方が相談しやすい環境作りを目指し、適切な支援ができるように努めていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	18	0	・保護者が参加する行事が多くあり、保護者が選んで参加することができる。	父母の会の円滑な活動の支援を行っています。また、保護者同士の繋がりがもてる機会が少しでも増えるよう取り組んでいます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	18	0	・日々の連絡帳や電話での対応、定期的な親子通園等の行事の機会に保護者と話し、情報を伝えあったり支援の内容について確認しあっている。	引き続き、相談や申入れがあった場合は、迅速かつ適切に対応できるようにしていきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	18	0	・行事予定や連絡、こども達の様子を毎月園だよりで知らせている。 ・園だよりでは写真付きで今楽しんでいるこどもの姿を知らせたり、来月の予定も添えたりして分かりやすく伝えている。	保護者の方への情報はわかりやすく、できる限り早めにお伝えできるように努めていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18	0	・十分に留意している。 ・個人情報の書類等は慎重に取り扱い、事務室で保管している。 ・紙の情報は鍵の掛かるところで管理している。電子データはネットに繋がらない回線で管理している。 ・市より、個人情報やセキュリティに関する研修やセルフチェックを受け、周知徹底している。	引き続き、個人情報の取り扱いには十分留意していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18	0	・写真カードやタイムタイマーなどを使い、一人一人に合った視覚支援を行ってい。 ・イラストや写真を活用して分かりやすく伝えている。 ・個々に合わせた伝え方を工夫している。 ・保護者対応、支援においては、その保護者に適切な伝達方法で行っている。 ・外国籍の保護者へ配布するプリントや連絡帳にはフリガナを振ったりローマ字で記している。 ・外国籍の保護者に通訳ができる職員が同席している。	今後も個々に合わせた意思の疎通や情報伝達の方法を、わかりやすくするための工夫や配慮をしています。

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	18	0	・ふれあいの里作品展や夏祭りを開催している。。	行事を継続し行っていくとともに、地域の方々とつながっていけるような事業を検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	18	0	・避難訓練や防犯訓練を毎月行っている。 ・事前に周知した上で訓練を行っている。 ・緊急時に対応できるよう、マニュアルが目を通しやすい場所や手に取りやすいところに保管されている。 ・保護者との引き渡し訓練を行ったり、訓練の様子を園だよりで伝えている。	・引き続き、マニュアルを職員に周知し、様々な発生を想定して訓練を行っています。 ・各マニュアルの保護者への周知方法について検討していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	18	0	・月に1回、バスや保育室など設定を変え実施している。 ・毎月避難訓練を行っている。避難する際に個別の支援が必要な子もいるため、毎度訓練後にこどもの様子、保育者の動きについて話し合っている。 ・避難訓練の役割や動きについて反省し、記録に残している。 ・毎月、様々な想定で避難訓練を行い、反省をもとに非常時の対応を検討している。	業務継続計画を策定しています。計画に基づき、毎月の訓練を行い、地震、火事、津波等の非常時に備えます。また、施設間で協力し合えるように合同の訓練も年に2回行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	18	0	・健康の記録や疾病一覧表で、疾病の有無、投薬状況、気をつける事項などを確認している。 ・家庭状況調査票や健康の記録などでこどもの状況を確認している。 ・重要な内容については十分に理解し対応できるようにしている。 ・入園前の面接時に、個別で看護師と一緒に確認している。 健康の記録や投薬連絡表の記入をしてもらい、変更追加はその都度、保護者に伝えてもらっている	・今後も、子どもの状況把握及び適切な対応ができるように努めています。また、変更追加がある時は細かく確認をし、速やかに全職員に周知して、安全に過ごせるようにしていきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	18	0		現在、該当児はいませんが、必要に応じて医師の指示書に基づき、マニュアルに沿って安全に食事提供を行っています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	18	0	・毎月の安全会議で、園の環境やこどもの姿に対しての安全対策について職員間で話し合い、対策を行いながら支援をしている。	・安全計画を作成し、計画を基に安全管理に必要な研修や訓練を実施しています。 ・安全管理を十分にし支援を行っています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	18	0	・避難訓練の年間計画を書面で周知している。 ・災害時等について、入園のしおりに記載し伝えている。	安全計画に基づいた取り組み内容について、十分周知できるよう取り組んでいます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	18	0	・少しでもヒヤリハットだと感じたことは、すぐに担任間で話し合い、会議の際に他クラスにも伝え周知できている。 ・終礼で報告し改善方法を職員間で話し合っている。	引き続き、けがには十分に気を付け、ヒヤリハット事例は全職員に周知します。速やかに対応し、事故が起こらないように留意していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	18	0	・行動確認表を使用して年3回確認している。 ・担任全員で虐待が疑われるようなことをしていないか、口に出しながらチェック表を記入している。 ・年に3回、行動確認表でチェックをし、適切な対応ができているか確認している。クラスの担任間で気をつけることを話し合い、職員全体でも共有している。 ・定期的に行動確認表をもとに担任間で確認した後、職員全体で話し合いをしたり、研修会を開いてい。	虐待防止委員会を設置し、研修を行ったり、定期的に行動を確認しチェックしたりしている。今後も適切な対応をしています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	18	0	・年度のはじめに口頭での説明と了解の印鑑を保護者にいただき個人のファイルに挟んでいる。 ・入園時にしっかりと説明し、了解を得ている。 ・「日常的な身体拘束に関する同意書」に身体拘束の目的と内容を明記し、保護者に説明して了承を得ている。 ・重要事項説明書で保護者に説明している。身体拘束の有無を毎日確認して療育日誌に記入している。	・今後も全職員で身体拘束についての認識を共有していきます。 ・子どもの安全を確保するためにやむを得ない場合は、報告書への記入と保護者への報告をさせていただきます。